

「障害福祉サービス等に関するニーズ調査」の実施概要（案）

（１）調査の目的

- ・寝屋川市障害福祉計画（第４期計画）の策定にあたり、障害のある市民のニーズや意見を幅広く把握し、計画に反映するために実施します。

（２）調査の実施方法

- ・障害のある市民の意見を幅広く把握するため、郵送による質問紙法で実施します。
- ・回収率をできるだけ高めるよう設問数を絞り込むとともに、関係団体・事業所等を通じて回答を呼びかけていただくなどの工夫を行います。
- ・知的障害のある人などが理解しやすいよう、できるだけ平易な表現を用いるとともに、ルビをふります。なお、障害のために本人が記入できない場合は、家族や介助者・支援者等の協力を得て回答していただくよう、依頼文に記載します。

（３）調査の実施時期

- ・７月～８月：調査票の検討・印刷、発送・回収
- ・９月～１０月：回答の入力・集計・分析

（４）調査の対象者

- ・下記の方々（合計約４,２００人）を対象として実施します。

（※）前回調査は約３,０００人でしたが、障害者数の増加等をふまえて拡大します。

○障害福祉サービス等（地域生活支援事業を含む）の支給決定者全員（約２,２００人）
→《調査票Ａ》

○上記以外の身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳の所持者から、障害種別や年齢等を考慮して無作為抽出した人（約２,０００人）→《調査票Ｂ》※

（※）支給決定者以外の抽出率は４０％を基本とし、障害児は人数が少ないため７０％、６５歳以上は身体障害の介護保険サービス利用者も多いため５％としました。

- ・障害福祉サービス利用、障害者手帳所持以外の、自立支援医療（精神通院）を受けている方や難病の方のニーズは別途把握します。

※調査票Ａと調査票Ｂは問１１から問１４までの内容が異なります。それ以外の問に関しては同内容となります。

※今回郵送させていたいただいている調査票Ｂは差分のみとなります。

（５）調査の内容

- ・ 前回調査（第３期計画策定時の調査）と比較することでニーズの変化を把握するよう、前回と同一の設問を行うとともに、第４期計画で検討すべき新たな課題などについてのニーズを把握するための項目を追加します。

【調査項目の柱】

- ・ 回答者の属性、障害や介助・支援等の状況と課題
- ・ 生活の場（居住、外出、就業等）の状況と今後のニーズ
- ・ 障害福祉サービス等の利用状況と今後のニーズ
（※）支給決定者とそれ以外の方に分けて設問します
- ・ 障害や生活に関する相談の状況
- ・ 障害のある人の権利擁護に関する状況とニーズ
- ・ 災害時の避難や緊急時の対応に関する状況とニーズ
- ・ その他の意見（自由記述）

【追加する設問】

- ・ 問６－③（介助・支援に関して困っていること）
- ・ 問７・８（外出の状況、外出に関して困っていること）
- ・ 問１０－①・②・③（就労の状況、今後の意向）
（※）前回調査は就労と日中活動をあわせて設問しましたが、回答しにくい傾向がみられたため、外出の状況と就労のニーズとして設問しました。
- ・ 問１４《調査票Ａ》（計画相談支援の利用状況と今後の意向）
- ・ 問１７（情報通信機器による情報入手の状況と意向）
- ・ 問１８－①・②（差別や嫌な思いの経験）
- ・ 問２０（災害への備えの状況）